

文化財石垣保存技術協議会会報

平成22年(2010) 第4号 —平成21年度事業報告—

第3回研修会

日時 平成22年1月21日～23日(木～土)
場所 山梨県甲府市 甲府市社会教育センター
参加者 40名
開催趣旨

文化庁・山梨県教育委員会と共催で第7回全国城跡等石垣整備調査研究会を実施した。

(1) 基調講演 本会評議委員の西田一彦先生が文化財的側面からのみ評価されがちな石垣を、土木構造物として強度や安全性の観点から評価された。この点は、地方自治体の開発・観光部局が都市公園等として管理する事例が多い城郭に対して、新たな利活用や修理のあり方を考える関係者共通の課題として認識された。

(2) 事例報告 城郭整備に関連し、修理方法に焦点を当てた各地の最新事例を研修した。

江戸城は大都市の人や車の往来が激しいなか、保存管理計画に関連する複数の自治体が共同で作成し、大都市における歴史的土木構造物の管理方法を公開した。

小田原城と甲府城は、市街地中心部にある都市公園であり建造物の復元を進めてきた。なかでも石垣修理は大規模事業であり、具体的な安全管理や事業体制の諸課題が報告された。

丸亀城では、石垣の重要要素である勾配の復元方法と基礎資料となるデジタル測量について工夫および課題事項を積極的に発表され、参考となる事例となった。

また、直接修理工事をコンサルティングする本会会員の真鍋建男氏は、これまでの実績をふまえ事業立案から完成に至るまでの諸問題と今後あるべき姿を全国視点で発表された。



挨拶する栗田代表



講演する真鍋会員

現職の石積技能者である本会会員の荏本久氏は現場で生じる諸問題を事前に解決する方法として、発注者である行政機関また施工側が留意すべき事項を具体的かつ体系的に報告された。



講演する荏本会員



報告者によるディスカッション

○討論会の要旨

- ・蓄積された修理技術の次の世代への伝達
- ・事業報告書の精度と記載されるべき内容
- ・官民が一体となり修理技術を発展継承する課題点
- ・日々進歩する修理技術の体系化と現場への反映方法
- ・事業体制、修理現場のあり方、円滑な事業展開方法



文化庁本中氏による総括

(3) 現地視察

①甲府城の石垣について、学識経験者のコメントを得ながら視察し、稲荷櫓台石垣改修工事の事例を実見し、事業体制や創意工夫した点を研修した。



本会評議委員西田先生による石垣解説



本会員有志による木矢による石割り実演

②史跡武田氏館跡では、平成19年からの石垣整備状況を視察し、諸課題について研修した。



石垣現況見学状況

後継者育成事業

1次研修

日時 平成21年12月18日～12月20日(金～日)

場所 兵庫県姫路市・赤穂市

参加者 7名

文化財石垣保存修理における基礎となる知識・技能の習得を目的に3日間行った。

伝統技術の継承目的とその技術についての学習及び、作業における注意点について講義が行われた。その後場所を赤穂の砕石場に移し、石材の加工・石積みを行った。



講習状況 (姫路)



実習状況 (赤穂)

2次研修 (宇和島)

日時 平成22年1月11日～1月17日(月～日)

場所 愛媛県宇和島市(宇和島城)

参加者 2名

石垣の解体工事現場で実地研修を行った。

石垣裏面の栗石・背面土の撤去を市文化財担当者の指導の下、現地作業員と共に行い、文化財としての石垣の撤去方法とその記録の取り方を研修した。



実習状況 (宇和島)

2次研修 (伊賀上野)

日時 平成22年2月11日～2月17日 (月～日)

場所 三重県伊賀市 (伊賀上野城)

参加者 5名

石垣の積み工事現場で実地研修を行った。

道具 (矢・ノミ) を鍛冶作業で作成し、実際に石材を用いて石積み用に加工を行い、石を積む一連の作業研修を行った。



実習状況 (伊賀上野)



実習状況 (伊賀上野)

技能者技術研修 (上級者)

日時 平成22年3月20日～3月22日 (土～月)

場所 兵庫県姫路市 日本城郭研究センター

参加者 16名

講師

本中 眞 高瀬要一 北垣聡一郎 大島和則

西田一彦 田中哲雄 真鍋建男 矢野和之

研修概要

文化財石垣の保存修理等において指導的役割を担う上級技能者の、文化財石垣に関する知識の習得と資質の向上を目的に研修会を行った。講義の内容は以下の通りであった。

<文化財一般講義>

- ・史跡等の保護と石垣保存技術の継承
- ・石垣修理の基本的考え方
- ・石垣の種類とその変遷
- ・石垣修理と土木工学

<調査>

- ・発掘調査
- ・ケーススタディー (姫路城石垣)

<施工理論・施工技術他>

- ・総合討論



研修状況

■事務局からのお知らせ

◇平成22年度総会を開催します

日時) 平成22年6月27日(日) 13:30～

場所) 日本城郭研究センター

(姫路市本町68-258)

主な議事)

- (1) 平成21年度事業報告
- (2) 平成21年度決算報告
- (3) 平成21年度監査報告
- (4) 平成22年度事業計画
- (5) 平成22年度予算案

◇平成22年度第1回研修会を開催します

日時) 平成22年6月27日(日) 14:30～

場所) 日本城郭研究センター

講師) 麓 和善 本協議会評議委員

(名古屋工業大学大学院教授)

平成21年度第2回研修会の資料集(1000円)を販売しております。ご希望の方は下記の通り申し込み願います。

【申込方法】資料代金1000円は現金または郵便定額小為替、送料210円は切手で、両方を現金書留等の郵送で事務局に申し込んで下さい。

詳細は、姫路市立城郭研究室ホームページ

(<http://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken/index.html>)にも掲載しております。

■事務局・広報担当からのお願い

○研修会などの参加感想や、文化財石垣について日頃疑問に思っていることなどありましたら下記事務局まで書面にてお知らせください。

年2回の会報ですが、可能な限りお答えしていきたいと思えます。

○当協議会が実施する研修内容や項目について要望があれば書面で事務局までお知らせください。

内容を検討のうえ、各種事業に反映させていただきます。

○各地の文化財石垣情報、書籍、刊行物の発行がありましたら情報提供ください。

■入会手続き

入会をご希望の方は、まず事務局にご連絡ください。当協議会の入会申込書を送付いたしますので、必要事項を記入のうえ、下記の事務局へご返送ください。

役員会にて会員資格審査後、入会通知書及び会費納入の振込用紙を送付します。年会費(4月～翌3月)をお振込いただき、事務局で正式に受理した日から本協議会会員として登録します。

■文化財石垣保存技術協議会会員数

(平成22年5月1日現在)

技能会員	109名
技術・研究会員	52名
一般会員	9名
賛助会員	16名
評議会員	8名

発行年月日 平成22年 5月31日
編集・発行 文化財石垣保存技術協議会
事務局住所 〒670-0012 姫路市本町68-258
日本城郭研究センター内
TEL 079-289-4877 FAX 079-289-4890